

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 713

| | | | | | |
|------|-------|------|------------------------------|--------|-------------|
| 政策体系 | 13 | 事業分類 | ソフト事業 | 所管部局 | 教育委員会 社会教育課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 10. 教育費 - 5. 社会教 - 2. 公民館 現年 | | |
| 事業名 | 文化祭事業 | | | | |
| 細事業名 | 文化祭事業 | | | | |
| | | | | 評価表作成者 | 教育委員会 社会教育課 |

1. 事業の概要

文化活動の振興と各種文化団体の育成並びに郷土文化の向上を目指し、文化協会とともに文化祭を実施する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け
文化芸術の振興

②事業を実施する必要性

地域に根付く文化芸術の資産を掘り起こし、更なる文化活動の活性化を図る。文化芸術に触れる機会や、自ら創造する楽しみを通じて、豊かな人間性を育み、日々の生活に潤いが生まれる。文化芸術の振興を図る。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 |
|-------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 1,819 | 1,094 | 872 | 838 | 1,001 | 1,071 | 1,071 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 1,819 | 1,094 | 872 | 838 | 1,001 | 1,071 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | 0.72 | 0.82 | 0.78 | | | |
| 人件費 | 千円 | — | 4,533 | 4,624 | 4,476 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | 5,627 | 5,496 | 5,314 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|---------------|----------|
| ボランティア謝礼他 | 122,680円 |
| 消耗品(看板等) | 127,966円 |
| 印刷(チラシ、プログラム) | 125,230円 |
| 映画フィルム使用料 | 136,500円 |
| 展示備品リース | 315,000円 |

5. 事業結果の概要

| | |
|-------------|-------------------|
| 文化祭総合開会式 | 平成22年11月3日 |
| 園部町文化祭 | 平成22年11月3日～11月28日 |
| 八木町文化祭 | 平成22年11月3日～7日 |
| 日吉町文化祭 | |
| 展示 | 平成22年10月23日～24日 |
| 発表 | 平成22年11月7日 |
| 美山町生涯学習フェスタ | |
| | 平成23年3月6日 |

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

公民館及び類似施設（4館）における地域特性を活かした文化祭の開催を検討したい。
平成23年度から各文化協会が統合し、「南丹市文化協会」の設立となる。
市民協働の立場で文化祭運営を今後いかに進めていくことができるかが課題。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

公民館及び類似施設（4館）における地域特性を活かした文化祭の開催を検討したい。
現在旧町ごとにある文化協会を統合し「南丹市文化協会」を設立するための検討会議や、平成23年の国民文化祭に向けて市の文化活動の底辺を広げることが必要である。
市民協働の立場で文化祭運営を今後いかに進めていくことができるかが課題。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
公民館及び類似施設（4館）における地域特性を活かした文化祭開催
- ②当該事業のアピール事項
平成20年度に総合開会式を実施でき、現在旧町ごとにある文化協会を統合し「南丹市文化協会」を設立し、平成23年の国民文化祭に向けて市の文化活動の底辺を広げる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
限られた人員での文化祭運営を今後いかに進めていくことができるかが課題。